

第7回 旅

富山の薬と越後の毒消し

2021.

9月4日(土) ～ 12月19日(日)



写真撮影：中村正也 1955年



旧市長公舎

安吾 風の館

- 観覧 無料
- 開館時間 10:00～16:00

主催 公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団
新潟市

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町 5927 番地 9

TEL & FAX 025-222-3062

第7回 旅

富山の薬と越後の毒消し

2021. 9月4日 [土] — 12月19日 [日]

取材旅行を紹介する「旅」シリーズの第7回

1955年1月坂口安吾は「安吾新日本風土記」の取材のため、古くから製薬、売薬で知られる富山市と新潟県西蒲原郡角田浜（現：新潟市西蒲区角田）を訪れている。

江戸時代よりいずれも重要な産業としての役割を担い、行李を担いで行商するという形態だが、富山は配置薬として男性が、新潟は「越後の毒消し」として緋の着物を着た女性が担うというように特徴がある。

「富山の薬と越後の毒消し」では、それぞれの製薬、売薬の歴史にふれ、現状を紹介している。地方の文化や産業と、そこに暮らす人々の暮らしを見直そうという意欲あふれる「安吾新日本風土記」も、2月17日安吾の急逝で連載は2回で中絶してしまう。この後日本は経済成長を遂げ、地方の様相も大きく変わっていくので、当時の取材記録は貴重な歴史資料、産業史料でもある。

安吾の視点から、独特な行商の仕組みとその記録を紹介したい。

◇ おもな展示作品

- 1954年版文芸手帳 富山取材メモ
- 1955年版講談社手帳 毒消し取材メモ
- 称名寺施薬院縁起
- 『中央公論』 1955年1月号、3月号、4月号 新潟市立中央図書館 所蔵
- 『小説新潮』 1955年2月号 新潟市立中央図書館 所蔵
- 中村正也撮影 取材時写真 ほか

【和室展示】

坂口綱男撮影 毒消しの村

次回展覧会のご案内

安吾って!? Part 4

関連イベント 「安吾風の館」見学と安吾ゆかりの地めぐり

日時：9/4（土） 13:00～14:30
集合場所：安吾風の館 参加費：500円 定員10名
申込方法：新潟・市民映画シネ・ウインド（tel.025-243-5530）へ電話にて



バスのご案内 新潟駅万代ロバスターミナル 7番線から、または観光循環バス乗車「西大畑上」バス停下車徒歩3分

- 開館時間 10:00～16:00
- 観覧無料
- 休館日 毎週月・火曜日 祝日または振替休日の場合はその翌開館日

旧市長公舎 安吾風の館

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町 5927 番地 9 TEL & FAX 025-222-3062